

# オレンジ通信 Vol.27

ささき  
佐々木まゆみ市議会活動レポート

2019年12月発行

発行元／仙台市議会公明党市議団 仙台市議会議員佐々木まゆみ  
仙台市宮城野区幸町2-21-11 TEL022-707-7462 メールアドレス sasaki@sendai-komei.jp



## ご挨拶

先の仙台市議会議員選挙におきまして、三期目に当選をさせて頂くことができました。ご支援いただきました皆様には心より感謝申し上げます。これからも安心安全な仙台の街づくりのため働くことを改めてお誓い申し上げます。

記憶に新しい本年10月に発生した台風19号により被害に遭われました皆さまに、心よりお見舞いを申し上げます。公明党仙台市議団として10月18日には、「台風19号被害対応に関する緊急要望書」を取りまとめ仙台市長に提出しました。

早急な被災状況の把握、被災証明書の速やかな発行、決壊した河川の改修と言った対策と仙台市の強靱化などを仙台市へ強く求めました。



台風19号被害対応に関する緊急要望書を仙台市に提出

今後も、東日本大

震災からのさらなる復旧復興と併せ、台風による被害への対策、防災減災の推進にも全力で取り組んで参ります。

改選後初の定例会では、道路照明灯問題で決算不認定とし、東北電力との和解案では原案通り可決しましたが、市民の皆様により丁寧な説明責任をすべしとの付帯決議をつけました。今後も、しっかりとチェック機能を果たして参ります。

仙台市議会議員佐々木まゆみ

## ●令和元年 第3回定例会

一般質問 令和元年10月1日

**【佐々木まゆみ議員】**このたびの台風で大きな被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。

東日本大震災から8年半が経過した現在の、市長の街づくりへの決意はどうか。

**【郡市長】**2030年までの国際的な防災行動指針である「仙台防災枠組」に掲げられた「ビルド・バック・ベター」という考え方も、過去の災害に学び、計画的なリスクマネジメントにより安全の確保を目指すというもので、本市の防災まちづくりと軌を一にするものと認識している。

**【佐々木まゆみ議員】**本市のワクチン助成について。

本市ではロタウイルスワクチンへの助成はしていない。ワクチン接種にかかる費用を、本市独自として早急に公費負担すべきと強く要望するがどうか。

**【健康福祉局長】**ロタウイルスワクチンの独自の費用助成については、令和2年10月からの定期接種化に向け、本市としても適切に対応できるよう、医療機関や関係団体との調整など、接種体制の構築を進めてまいりたい。

**【佐々木まゆみ議員】**児童クラブの土曜日開設時間について。現在午前9時からとなっている土曜日の開所時間を、ほとんどの認可保育所が行っている、朝7時や7時30分からにしてほしいとの要望があるがどうか。

**【子供未来局長】**土曜日及び長期休業日等の朝の時間をはじめ、開設時間の更なる拡大については、一定の要望をいただくことがあるが、その実施にあたり、放課後児童支援員等の人材確保の問題や、安定的運営のための財政上の課題もある。引き続き、本市全体の利用ニーズの把握に努めるとともに、児童クラブ事業の持続的・安定的な運営のあり方もあわせ、検討を深めてまいりたい。

**【佐々木まゆみ議員】**喉頭摘出者への発声支援について。喉頭摘出者への発声支援の現状について、どのような発声方法があり、それに対して本市でどのような支援が可能なのか、現状を伺う。

**【健康福祉局長】**喉頭を摘出した方の発声方法には、のどに開けたあなを塞いで発声するシャント発声法、声帯の代わりに、口の中を電動式の器具で振動させ発声する人工喉頭発声法、空気を食道に溜め、いわゆ

るゲップをする感じで発声する食道発声法の3種類がある。本市の支援としては、障害者日常生活用具として、シャント発声法の方には埋込型の人工鼻を、人工喉頭発声法の方には電動式人工喉頭そのものを給付している。

**【佐々木まゆみ議員】**3つの方法のうち、器具を使用するのは、電気式人工喉頭による発声方法とシャント発声がある。人工鼻は使い捨て消耗品で1ヶ月おおよそ23,000円～25,000円の費用がかかり、全額自己負担では高齢者、特に年金生活者にとっては使用が難しくなり、維持するのが大変な状況になる。シャント発声法じゃない方でも、人工鼻を利用している方も多くありますが、障がい者制度の助成対象になっていない。そこで本市として、シャント発声法同様、電気式人工喉頭発声への人工鼻の費用助成も必要と考えるがどうか。

**【健康福祉局長】**喉頭摘出者に対する障害者日常生活用具は、情報伝達や意思疎通等を支援することを目的としている。シャント発声法の場合は、のどに開けたあなを手で塞ぐ必要があるが、人工鼻が手の代わりとなり、両手が使用できるようになるなど利用者のコミュニケーションの幅が広がることから、給付対象とした。一方、人工喉頭発声法の場合、人工鼻を用いずとも意思疎通が可能であることから、給付対象としていない。他都市の動向なども注視し、調査研究していく。

**【佐々木まゆみ議員】**ゴミ出し支援。ご高齢者やお一人暮らしの方、エレベーターが整備されていない集合住宅や高台にお住まいの方などのゴミ出し支援について、社会福祉協議会と連携しながら更なる拡充をすべきと考えるがどうか。

**【環境局長】**地域ごみ出し支援活動促進事業については、現在21団体が登録し、うち7団体が15世帯を支援している。昨年10月の事業開始前から、町内会等へ説明を行うとともに、区役所、市民センター等でのチラシ配布、支援対象者の目に届きやすい冊子媒体等に掲載するなど、事業の周知に努めているが、現在、制度開始から1年となることから、支援実施団体や社会福祉協議会等関係団体へのヒアリングなどにより、課題等を整理している。

**【佐々木まゆみ議員】**粗大ごみ受付センターの土日対応の必要性、併せて、ご高齢者等への粗大ごみの対応が必要と考えるがどうか。

**【環境局長】**現在平日のみ行っている粗大ごみの受付センターにおける土日の受付については、インターネット受付件数の推移を見極めるとともに、市民の皆さまのニーズや費用面も含め、検討してまいりたい。

また、原則玄関前にお出しいただき収集を行っている粗大ごみ出しについては、高齢者や障害をお持ちの方で、外への運び出しが困難な場合は、収集の受付の際にお申し出いただくことにより、対応できる範囲内において、お手伝いしているところである。引き続き、受付時の案内を含め、丁寧な対応に努めていく。

**【佐々木まゆみ議員】**ごみ収集車による、「特殊詐欺被害防止の啓発活動」について。

現在「渡さない現金とカード」と記したマグネットシートを収集車に貼り、特殊詐欺被害防止に向けての啓発活動を行っている。今後は、市内2万カ所あるごみ集積所を定期的に回っている、約240台のごみ収集車を活用しての「音声」での特殊詐欺被害防止の啓発活動を推進すべきと考えるがどうか。

**【市民局長】**ごみ収集車は、定期的に地域をきめ細かく回っており、マグネットシートを貼っての広報は、多くの方に見ていただくという点で、効果的であったものと考えている。ご提案の音声によるものも含めごみ収集車の活用について、環境局と協議しながら検討していく。

## ●決算等審査特別委員会【環境費】

**【佐々木まゆみ議員】**ごみ出しの取り組み状況や課題等について。「ワケアップ!仙台・ごみ減量キャンペーン」の効果や、クリーン推進員の活動状況はどうか。

**【家庭ごみ減量課長】**家庭ごみは減少しており、一定の成果はあったものと認識している。区ごとに行われたクリーン推進員との意見交換会では、「集積所の実態を直接確認してもらえて良かった」「市全体の本気度が感じられとても良かった」などの意見が出された。推進委員は昨年比増加している。

**【佐々木まゆみ議員】**ごみ分別アプリ「さんあ〜る」仙台

版の過去3年間のダウンロード数はどうか。

**【家庭ごみ減量課長】**スマートフォン用アプリ「さんあ〜る」は平成28年6月から利用開始。初年度は4,004件、29年度は4,016件、30年度は4,394件となっている。

**【佐々木まゆみ議員】**本市では、ワケルくんの『五つ星集積所診断』を実施しており、地域のごみ集積所を環境局の職員が診断して結果をお知らせし、五つ星に認定された集積所には認定証と併せて清掃用具(ほうきとちりとり)を贈呈する取り組みもしている。もっと積極的にアピールすべきと思うがどうか。

**【家庭ごみ減量課長】**「五つ星集積所診断で認定をことで、励みになった」「評価してもらいありがたい」といった声を頂いている。今後とも周知啓発に努めていく。

## ●決算等審査特別委員会【建設費】

**【佐々木まゆみ議員】**道路維持費について。決算年度における通学路安全対策や点検内容はどうか。

**【道路計画課長】**具体的には鶴ヶ谷小学校の通学路では「バス通りのため交通量が多いが歩道が設置されていない」との点検結果を踏まえ、外側線の引き直しに加え、路側帯と交差点のカラー化を実施、さらにスクールゾーンの標識を設置した。また西山小学校通学路では、「見通しの悪い交差点で児童と車両が接触する危険がある」との点検結果を踏まえ、カーブミラーを設置した。

**【佐々木まゆみ議員】**保存緑地の保全については、その土地の形状や規模、周辺の状況、土地所有者の事情などにより維持管理は大変である。今後、どう維持管理対策を講じていかれるのか。

**【建設局長】**本市が所有する保存緑地については、支障木の伐採や剪定、除草などを行うと共に一部の緑地では、地域住民との協働による除草や散策路の整備、市民団体による樹林地管理などを行っている。今後は取り組みを広げ、自然観察や体験学習などの場として活用できるような、より親しまれる緑地として管理していく。

## 佐々木まゆみの活動



鶴ヶ谷地域の芋煮会に参加



宮城野区防災訓練に参加



宮城野区記念植樹式



幼稚園の運動会に参加



幸町地域の芋煮会に参加

## ささき 佐々木まゆみのPROFILE

昭和39年7月仙台市生まれ。

平成23年仙台市議会議員初当選(宮城野区選挙区)。現在3期目。

【仙台市議会】

議会運営委員会副委員長、総務財政委員会副委員長、スポーツ振興調査特別委員会委員。